

# 「かごんまの色」について

「かごんまの色」は、景観や特産品、動植物、言葉などに由来する鹿児島県らしい色のことです。当研究会では県内の各自治体等発行による33種類の観光案内パンフレットや県ホームページ等を参考に選定しました。それらを対象の性質に応じて機械測色、視感測色、印象調査のいずれかの方法を用い、色彩値を算出しました。これまで調査してきたは138色ですが、皆様のご意見などを参考に今後は「かごんまの色」を増やしていきたいと考えています。

## これまでに調査した「かごんまの色」

1 赤土パレイシヨの土	29 川辺仏壇の金箔	57 桜島小みかん	85 縄文杉	113 西田橋
2 あくまき	30 川辺仏壇の漆黒	58 桜島大根	86 シラス	114 ハイビスカス
3 アコウ	31 かるかん	59 「桜島」のイメージ	87 しろくま	115 花瀬公園の石畳
4 甘口醤油	32 喜入のリュウキュウコウガイ	60 桜島の灰	88 白薩摩	116 春駒
5 アマミノクロウサギ	33 喜界島の白ごま	61 佐多柳から見た黒潮	89 人工衛星おおすみ	117 芭蕉布
6 安納芋	34 「きはいやんせ」のイメージ	62 薩摩揚げ	90 砂蒸し温泉	118 パッションフルーツ
7 異人館	35 霧島神宮	63 薩摩硫黄島港	91 曾於の青ゆず	119 はやとの風
8 出水武家屋敷の石垣	36 キンカン	64 薩摩黒石	92 曾木の滝	120 反射炉跡
9 イヌマキ	37 「錦江湾」のイメージ	65 薩摩切子の藍	93 ソテツ	121 ハンダマ
10 指宿の菜の花	38 黒牛	66 薩摩切子の黄	94 鯛車の赤	122 東申良のキュウリ
11 えっがね	39 黒温泉	67 薩摩切子の金赤	95 鯛車の黄	123 東申良のピーマン
12 エラブユリ	40 黒麹	68 薩摩切子の島津紫	96 タカエビ	124 吹上浜
13 オオゴマダラの羽根	41 黒薩摩	69 薩摩切子の紅	97 竹島	125 プリンセスかのや
14 大島紬	42 黒島	70 薩摩切子の緑	98 竹製品	126 紅サツマ
15 「大隅」のイメージ	43 黒酢	71 薩摩黒合鴨	99 たけのこ	127 坊津
16 雄川の滝	44 黒酢壺畑	72 薩摩黒切子	100 だっきしょ豆腐	128 ポゼの飯面
17 奥十曾のエドヒガン	45 クロダイ	73 薩摩西郷梅	101 種子鉄	129 木枯節
18 オッのコンボ	46 黒ちよか	74 薩摩銅器	102 垂水の千本イチョウ	130 ボンタン漬
19 カイコウズ	47 黒之瀬戸	75 さつまと町の田の神さあ	103 タンカン	131 丸池湧水
20 「鹿児島県」のイメージ	48 黒豚	76 薩摩つけ櫛	104 ちゃんぼもち	132 マンゴーの実
21 鹿児島市側から見た錦江湾	49 けたんは	77 薩摩鶏	105 知覧の新茶	133 実エンドウ
22 鹿児島市側から見た桜島	50 ゴールドビーチ	78 「薩摩」のイメージ	106 「てけてけ」のイメージ	134 ミキ
23 鹿児島ラーメン	51 黒色磨研土器	79 薩摩藩英国留学生記念館	107 十島の島バナナ	135 ミヤマキリシマ
24 ガジュマル	52 黒糖	80 薩摩深水刃物	108 土盛海岸	136 弥五郎どんの梅染単衣
25 柏原海岸のルービン	53 瓶島のキビナゴ	81 獅子島の化石	109 照国神社の鳥居	137 溶結凝灰岩
26 釜蓋神社の釜蓋	54 高麗餅	82 シバザクラ	110 長島町のブリ	138 ハリカケス
27 蒲生の大クス	55 克灰袋	83 志布志のウナギ	111 長目の浜	
28 蒲生和紙	56 西郷陸盛銅像	84 尚古集成館	112 ナベツル	



投票の様子

調査方法：調査は2016年4月～2019年1月の間に実施した。選定した調査対象の性質に応じて機械測色、視感測色、印象調査のいずれかの方法を用い色彩値を算出した。機械測色は分光測色計（コニカミノルタセンシング製 CR-20 及び CM-5）を用い、主に液体及び黒素材を対象に実施した。視感測色は日本塗料工業会塗料用標準色ポケット版2017年J版及び日本規格協会 JIS 標準色票光沢版第9版を用い、特産物ブランド、環境ブランド、交流ブランドのいずれかに属する対象に実施した。すべての調査対象の観察時間帯は日の出3時間後から日の入り3時間前であった。観察者は石原式色覚検査表を用い、色覚に異常がないことを確認した色覚正常者1人であった。印象調査はPCCSにおける有彩色132色（12色×11トーン）及び無彩色5色の計137色に基づく色票を用い、鹿児島県の特徴的な言葉及び地名（調査対象名のうち、「イメージ」と記載されているもの）に対するイメージカラーを18～21歳までの大学生99人を対象に実施した。その際、もっとも多く選択された色1色を代表色とした。

【研究に関するお問合せ】 鹿児島大学 環境色彩学研究会

電話：099-285-6487（代表） E-MAIL：plus05@gm.kagoshima-u.ac.jp